

2019Japan National Team Report ” サポーター”



報告者氏名	苗床 義隆
大会名	2019 OPTIMIST NORTH AMERICAN CHAMPIONSHIP
開催地	NASSAU BAHAMAS
大会期間	2019.9.27-10.4

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい

開催地域の様子	ナッソーは観光地で、治安もいいように感じました。 サポーターの移動はタクシーを利用したが、メーターがないのに驚きました。料金はホテル-マリーナ間の約2-3kmで25~35ドル(ドライバーによって変わる)。 心配されたハリケーンの影響も(少なくとも会場付近は)なく、無事に開催されました。
宿泊場所	オフィシャルホテルはとてもリッチなもので、快適に過ごすことができました。
大会のサポーターへの対応は	会場への入場は特に規制されず、食事(チケットを購入すれば)選手たちととることができました。
選手たちのコンディションいつもとどうでしたか？	体調を崩した様子は見受けられませんでした。最初のうちは緊張した様子の子もありました。 室内外で気温差が大きく(ホテルの冷房が良く効いており)、体調面への影響を心配しましたが、選手は室内では上着を着用するなどして体調管理をしているようでした。
サポーターとして気をつけたことは？	お母さんチームは、選手の食事に気をつけていただき、毎日、昼食用おにぎりを準備していただきました。(感謝です)。
海外の選手を見て感じたことは？	マリーナにあるプールで遊んでいる選手を観察していると、上位選手の身体能力の高さに驚かされました。
日本の選手を見て感じたことは？	(海上では知りませんが)陸上では海外の選手と積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢が見受けられ、楽しそうにしている姿を見ると、頼もしく思いました。

Spare dayの過ごし方は？	Spare dayはありませんでしたが、早くホテルに帰った日は、ホテルのプールやビーチで過ごしました。
日本チームとしての課題はありましたか	各役員にはよくチームを引っ張っていただき、チームとしての不安や課題はないように思いました。
JODAへの要望	北米選手権への招待が届いてから、タイトなスケジュールでしたが、JODAをはじめ、チームメンバーのサポートによりなんら不安や問題なく参加することができました。ありがとうございました。 なお本大会の計測において、日本の大会との相違点がありました。ルール運用の平準化が図られれば、選手への混乱が回避できるものと思います。IODA総会などをおして提案いただければと思います。
その他	特記なし。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会